

全数報告の感染症

- 1 類感染症: 報告なし
- 2 類感染症: 結核 47 例
- 3 類感染症: 細菌性赤痢 6 例 (感染地域: インドネシア 5 例、インド 1 例)、腸管出血性大腸菌感染症 16 例 (うち有症者 12 例、HUS なし) [感染地域: 石川県 6 例、富山県 2 例、福岡県 2 例、青森県 1 例、福島県 1 例、栃木県 1 例、三重県 1 例、滋賀県 1 例、熊本県 1 例 年齢群: 10 歳未満 (5 例)、10 代 (2 例)、20 代 (2 例)、30 代 (3 例)、50 代 (3 例)、60 代 (1 例) 血清型・毒素型: O157 VT1・VT2 (10 例)、O8 VT1 (1 例)、O26 VT1 (1 例)、O157 VT1 (1 例)、その他/不明 (3 例)]
- 4 類感染症: E 型肝炎 1 例 (感染地域: 宮城県、感染源: 不明)、A 型肝炎 1 例 (感染地域: 長崎県)、デング熱 1 例 (感染地域: インドネシア)、マラリア 2 例 [熱帯熱 1 例 (感染地域: ケニア)、三日熱 1 例 (感染地域: パプアニューギニア)]、レジオネラ症 4 例 (すべて肺炎型) [年齢群: 60 代 1 例、70 代 1 例、80 代 1 例、90 代 1 例 感染地域: 岐阜県 1 例、大阪府 1 例、和歌山県 1 例 (温泉)、国内 (都道府県不明) 1 例]
- 5 類感染症: アメーバ赤痢 9 例 (腸管アメーバ症 5 例、腸管外アメーバ症 4 例) [感染地域: 国内 8 例、国内/国外 (国不明) 1 例 感染経路: 経口 2 例、性的接触 3 例 (異性間 1 例、同性間 1 例、異性間・同性間不明 1 例)、不明 4 例]、ウイルス性肝炎 1 例 (B 型、感染経路: 性的接触 (同性間))、急性脳炎 2 例 (A 型インフルエンザウイルス 1 例 (5 歳)、インフルエンザウイルス (型不明) 1 例 (5 歳))、後天性免疫不全症候群 8 例 (無症候 5 例、AIDS 2 例、その他 1 例) [感染地域: 国内 7 例、ミャンマー 1 例 感染経路: 性的接触 6 例 (異性間 3 例、同性間 3 例)、不明 2 例]、ジアルジア症 1 例 (感染地域: インド)、梅毒 5 例 (早期顕症 II 期 2 例、無症候 3 例)、バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1 例 (遺伝子型: VanC_菌検出検体: 血液)

定点把握の対象となる 5 類感染症 (週報対象のもの)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は 3 週連続で減少したが、過去 5 年間の同時期 (前週、当該週、後週) と比較してかなり多い。都道府県別では青森県 (22.5)、沖縄県 (22.3)、宮崎県 (16.7)、福井県 (15.5) が多い。

小児科定点報告疾患: RS ウイルス感染症は 290 例の報告があり、報告数は減少した。年齢別では、1 歳以下の報告数が全体の約 82% を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では富山県 (0.83)、山形県 (0.73)、島根県 (0.65) が多い。A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は第 11 週以降減少が続いている。都道府県別では富山県 (4.1)、石川県 (2.8)、山口県 (2.3) が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は 3 週連続で減少した。都道府県別では福井県 (14.3)、宮崎県 (12.7)、愛媛県 (10.3) が多い。水痘の定点当たり報告数は 3 週連続で減少した。都道府県別では宮崎県 (5.5)、沖縄県 (4.6)、鹿児島県 (4.0) が多い。手足口病の定点当たり報告数は 3 週連続で減少したが、過去 5 年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では佐賀県 (1.4)、宮崎県 (1.3)、長崎県 (1.0) が多い。伝染性紅斑の定点当たり報告数は 2 週連続で増加し、過去 5 年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では富山県 (2.6)、石川県 (2.6)、北海道 (1.8)、長野県 (1.4) が多い。百日咳の定点当たり報告数は微減した。都道府県別では栃木県 (0.06)、千葉県 (0.06)、岐阜県 (0.04) が多い。風しんの報告数は微減した。都道府県別では宮城県、埼玉県、千葉県、富山県、大阪府、兵庫県から各 1 例の報告であった。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は微増した。都道府県別では岩手県 (0.26)、広島県 (0.19)、長崎県 (0.16) が多い。麻しんの報告数は 2 週連続で増加した。都道府県別では埼玉県 12 例、東京都 6 例、神奈川県 4 例、愛知県、兵庫県から各 2 例、宮城県、茨城県、栃木県、群馬県、京都府、大阪府から各 1 例の報告があった。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では高知県 (1.8)、秋田県 (1.8)、三重県 (1.5) が多い。

基幹定点報告疾患: マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少したが、過去 5 年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では埼玉県 (1.8)、福島県 (1.7)、沖縄県 (1.6) が多い。成人麻しんの報告数は 5 例であり、東京都から 2 例、宮城県、神奈川県、長野県から各 1 例の報告があった。

1)	小児科定点											眼科定点		基幹定点							
	RS ウイルス感染症	咽頭結膜熱	菌咽頭炎	A 群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	成人麻しん
(定点当たり)																					
愛媛県	8.9	.1	.0	1.7	10.3	3.5	.9	1.2			.1		.7		3.0	.2		.2			
近県	香川県	8.3	.2	.1	.7	6.1	1.6	.1	.4	.6		.1		.4		1.3					
	徳島県	10.2	.2	.1	.9	7.5	1.5		.2	.3				.4							
	高知県	9.6	.1	.0	.8	6.2	1.8	.1	.5	.4				1.8		1.0	.1			.3	
全国	9.4	.1	.2	1.3	6.1	1.9	.2	.7	.6	.0	.0	.0	.5	.0	.7	.0	.0	.3	.0	.0	.0
北海道	11.6	.2	.2	2.3	2.0	1.6	.1	1.8	.5		.0	.0	.3		.8			.0	.6	.0	.0
東北	12.3	.2	.3	1.4	4.8	1.5	.1	.8	.6	.0	.0	.0	.8		.4		.0	.6	.0	.0	.0
関東	7.5	.0	.2	1.5	5.4	1.9	.1	.6	.6	.0	.0	.0	.3	.1	1.0			.5	.0	.0	.0
甲信越北陸	12.6	.1	.3	2.1	6.1	1.9	.1	1.5	.5		.0	.0	.7	.0	.3	.0		.2	.0	.0	.0
東海	8.5	.1	.2	1.0	6.1	1.7	.0	.7	.6	.0	.0	.0	.4	.0	.3		.1	.3			
近畿	6.1	.1	.2	.8	7.1	1.7	.1	.6	.5	.0	.0	.0	.5		.5	.0	.0	.3			
中国四国	10.6	.1	.3	1.3	7.5	1.8	.1	.4	.6	.0	.1		.6		1.1	.0		.2	.0		
九州沖縄	12.8	.1	.3	1.1	7.6	3.0	.7	.2	.7	.0	.1		.6		.0	.7	.0	.1			

1) 高病原性鳥インフルエンザを除く。 2) 成人麻しんを除く。 3) 真菌性を含む。 4) オウム病は除く。 (4月12日集計)

全国 全数把握感染症 第14週 (2007.4.2 ~ 4.8)

類 型	二類	三類感染症					四類感染症														五類感染症																	
		(2)結核	(1)コレラ	(2)細菌性赤痢	(3)腸管出血性大腸菌感染症	(4)腸チフス	(5)パラチフス	(1)E型肝炎	(3)A型肝炎	(4)エキノコックス症	(6)オウム病	(10)Q熱	(12)コクシジオイデス症	(18)つつが虫病	(19)デング熱	(23)日本紅斑熱	(24)日本脳炎	(25)発疹チフス	(29)ブルセラ症	(32)ポツリヌス症	(33)マラリア	(35)ライム病	(39)レジオネラ症	(40)レプトスピラ症	(1)アメーバ赤痢	(2)ウイルス性肝炎 (E型及びA型肝炎を除く)	(3)急性脳炎	(4)クリプトスポリジウム症	(5)クロイツフェルト・ヤコブ病	(6)劇症型溶血性レンサ球菌感染症	(7)後天性免疫不全症候群	(8)ジアルジア症	(9)髄膜炎菌性髄膜炎	(10)先天性風しん症候群	(11)梅毒	(12)破傷風	(13)バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	(14)バンコマイシン耐性腸球菌感染症
第14週報告数	全 国	47		6	16		1	1						1					2		4			9	1	2				8	1			5			2	
	四 国	愛 媛 県																																	1			
		香 川 県																																				
		徳 島 県	1																																			
		高 知 県																																				
	ブ ロ ッ ク 別	北 海 道																													1							
		東 北 道	3			2		1							1																							1
		関 東 圏	11		2	1														1						1										2		
		甲信越北陸	6			8																						1										
		東 海 道	6		1	1																		2		1										1		
近 畿 圏		2		2	1																		2		2	1											1	
中 国 四 国	6		1																1					1		1								1				
九 州 沖 縄	13			3				1																4						1								
週 推 移	全 国	47		6	16		1	1						1					2		4			9	1	2				8	1			5			2	
	13週			13	10	1		1					2	1									5	1	2		2	1	6				3					
	12週			9	4	1	2							1					2		8			9	1			1	11		1		6	1				
	11週			6	8	1	1	1		1												4		10		5		4		8		1		9	1		1	
2007年累積数	全 国	48	3	132	178	9	4	16	41	4	7	3	1	41	13		1		1	9		95	1	187	33	54	1	42	33	299	11	4		119	14		21	
	四 国	愛 媛 県			1	4			1																1	1	1		2						1			
		香 川 県				2								3															1	1				3				
		徳 島 県	1																																			
		高 知 県																						1	1			3		1								
	ブ ロ ッ ク 別	北 海 道			1	4		4		3										1		7		4	1		1	5	4				3			1		
		東 北 道	3	1	4	15	2	1	4		1			6	1					1		5		12	1	3		2	3	8		1		4	1	2		
		関 東 圏	11	1	48	24	2	3	11	1	1		1	6	3						4		18		77	10	20		10	10	141	6		39	3		9	
		甲信越北陸	6		5	18	1		2					1									13	1	7	3	4	1	4	1	7			5		2		
		東 海 道	6		20	13		7	4		1			4	1								24		22		3		4	3	46		1	22	2		3	
近 畿 圏		2	1	44	36	4	2	1	9		3		9	3						3		10		44	9	11		7	5	63	4	1	15	1		3		
中 国 四 国	7		8	32			6		1	3		4	2		1				1		8		7	6	5		10	2	11	1		12						
九 州 沖 縄	13		2	36			5					11	3								10		14	3	8		4	4	19		1	19	7		1			

・医療機関での診断日をもとに集計。集計日以降の報告数は、次週以降の累積に反映されます。
 ・2007年4月からの法改正に伴い、疾病の追加および並び順を一部変更しました。